

今月の特集関連本 ③



小児骨折における 自家矯正の実際



骨折部位と程度からわかる
治療選択

著者 | 亀ヶ谷真琴
監修 | 森田光明 | 都丸洋平

矯正の実際が見てわかる！
治療方針決定の一助となる
子どもの骨折138例

小児骨折における自家矯正の実際

骨折部位と程度からわかる治療選択

亀ヶ谷真琴＝執筆

森田光明、都丸洋平＝執筆協力

本体 7,000 円＋税／B5 判・212 頁／医学書院／2017

小児骨折の治療にあたっては、成人との最大の違いである“成長軟骨板”の特性や特徴をよく理解したうえで、“自家矯正”が生じうることを常に頭に置いて「保存治療」あるいは「手術治療」の選択を行う必要がある。本書は、子どもの骨折に特有の自家矯正力にスポットを当て、自家矯正の傾向や程度が実感できる138ものバリエーション豊かな症例をもとに、部位ごとに骨折後の変形がどの程度矯正されうるかを明確に解説する。